

乳腺・内分泌外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	遺伝子プロファイリング情報の乳癌診療への応用
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	（所属）外科学講座（乳腺・内分泌外科） （職名） 教授（特任） （氏名）藤井公人
研究の対象となる方	2020年1月から2027年12月までに遺伝子検査を受けた患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028年4月30日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 乳癌診療において、包括的遺伝子プロファイリング検査（FoundationOne CDx 等）や多遺伝子アッセイ検査（OncotypeDx）を用いて治療方針を決定することが多く行われています。その情報を用いて従来の診断学との比較を行い、今後の治療計画に寄与する有効な考察を得ることを目的とします。 〔利用方法〕 上記検査の結果、診療情報そして病理組織学的検査結果をセットにして比較検討します。対象患者さんの治療歴、家族歴や上記検査で得られた癌細胞の遺伝子変化との関係を、統計解析も含め検討します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：：電子カルテより病歴（年齢、術式、既往歴）、乳癌組織の病理組織学的検査結果、包括的遺伝子プロファイリング検査、多遺伝子アッセイ検査の結果を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028年3月31日までに電話連絡により下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学 外科学講座 （乳腺・内分泌外科） 担当者：（職名）教授（特任） （氏名）藤井公人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22140）